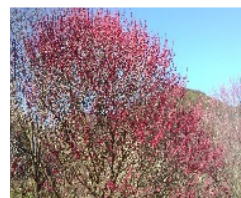


## 「富野由悠季の世界」展 変化球よもやま話

映画・イベント・ボランテニア・グループ

中島 健



富野由悠季氏と聞くと、まずは著名な「機動戦士ガンダム」をはじめとするいわゆるSFロボットアニメを思い浮かべる方が多いはずではありませんが、この稿は、かなり変化球で綴ってみたいと思います。

◎ 当該企画展のチラシに “日本アニメーション” という会社名が印刷されています。会場に足を運ばれた方はお気づきかもしれませんが、テレビアニメ「赤毛のアン」第8話の絵コンテの一部が展示されており、その製作会社名です。  
図録（厚い方の冊子）ではP.35・36の2ページに亘って、「アルプスの少女ハイジ」「母をたずねて三千里」「赤毛のアン」の、いわゆる名作アニメのタイトルが出てきます。フジテレビ系日曜午後「30」でお馴染みだった世界名作劇場（このシリ

ーズタイトルは年により変遷あり／放送チャンネルはBSフジへの移行あり）では、富野由悠季氏は、三千里、アンの他にも「フランダースの犬」「あらいぐまラスカル」「ペリー物語」にも参加。当該シリーズ以外の名作アニメ「山ねずみロッキータック」「小さなバイキング・ビッケ」「シートン動物記 くまの子ジャッキー」「未来少年コナン」にも参加されています（ハイジは、製作会社自体の変遷の関係上、世界名作劇場シリーズには入らないとされている／コナンも海外文学が原作となっておりいわゆる名作アニメに分類されることが多い）。  
当地域では映画「高津川」が撮影され現在公開中ですが、事前に撮影場所探し等をするいわゆるロケハン（ロケーションハンティング）が行われました。そういった実写の映

画や、テレビドラマ等においてはたいてい行われるのですが、これらいわゆる名作アニメの製作に際しても、海外にある物語の舞台となる国・地域に向き、その場所の風景、風土や生活文化についてのリサーチが行われており、リアリズムを追求するためのその行為も同様に「ロケハン」と呼ばれます。図録の当該ページでは、巡回展開催美術館のこのページの担当学芸員が、名作アニメと富野氏によるSFの描写の、互いのリアリズムの捉え方についての興味深い考察が記述されていますので、ぜひ図録も読んでみてください。



「富野由悠季の世界」3月23日（月）まで

◎ 富野由悠季氏の著書「だから僕は…」に、「小さなバイキング・ビッケ」の総監督就任のオフアアがあったと記述されています。結果は

当該著書をご覧いただくとして、そのタイミング如何では…と思えるほどに、生々しいやりとりが記述されています。

◎ NHK連続テレビ小説「なつぞら」の劇中アニメは、まさに名作アニメ、ことさら世界名作劇場を思い起こさせるものでした。実際、世界名作劇場シリーズに携わられたアニメーターで、この朝ドラの劇中アニメにも携わられた方がおられます。

◎ アニメ映画「この世界の片隅に」「この世界の（さらにいくつもの）片隅に」の監督…片渕須直氏は、世界名作劇場「名犬ラッシー」の監督他をされています。

◎ 「山ねずみロッキータック」他の主題歌を歌われている堀江美都子氏は、グラントワフ大ホールに来演されたことがあります。NHK総合テレビ「チョコちゃんに叱られる！」のオープニング曲も、NHKで放映されたいわゆる名作アニメ「名犬ジョイイ」（製作協力（アニメ製作）はビジュアル80）のオープニング主題歌の冒頭イントロ部分で、この曲も歌入りの部分です。堀江美都子氏が歌われているんです。

…と、かなり脱線してきましたので、このへんで…。

# 『グラントワ通り』がしまね景観賞（奨励賞）

ボランティア会推薦（応募）

県内の魅力ある景観を創り出している「まちなみ」や「建築物」及び「活動」等のうち、地域の景観づくり特に貢献しているものを表彰する「しまね景観賞」。

昨年8月に第27回しまね景観賞の募集があり、グラントワにちなんで名称が市民から選ばれた「グラントワ通り」をグラントワボランティア会（高橋和男会長）として推薦（応募）することになりました。

ご承知の通り大変美しい景観を持つこの大通りは地域の方々と共に常にその美化活動にボランティアとしても参加しているところです。

応募にあたり景観のすばらしさを広く周知できるように 数十枚の写真に収めて代表作4点を推薦書に添付いたしました。直線道路の美しさ、夜間照明の中での幻想的なものもありました。

1月下旬、91件の応募の中から審査がなされ、受賞の運びとなりました。推薦者として大変うれしく思いました。

言うまでもなくこの道路の事業主体は島根県です。その設計、施行には多くの事業団体（26団体など）が携わりました。今回受賞された方々にお祝いを申し上げます。

さて、この道路は約20年前のことになります。「賑わいと文化のまちづくり」構想の一環として企画・施行されました。大規模な開発、街づくりです。

益田市の中心部を東西に貫く県道「中島染羽線」の延長は1.7キロメートル、幅員19メートル（従来は8キロメートル）です。歩道、車道、街路樹があり、電線などは地下の共同溝に納められ、電柱のない安全で快適な街となりました。

この素晴らしい景観を持つ「グラントワ通り」は近隣の町にはないものです。

今回の受賞でまた一つ地域の魅力がそしてセールス・ポイントが増えました。

この道路を通じて美術館や名所史跡などをめぐる循環バスなどが運航



されることを切に願うものです。（将来無人運転のバスでも対応できる道路と 생각합니다）

## 『島根のモンサンミッシェル』

### 優秀賞受賞

益田市小浜にある宮ヶ島・恵比寿神社はその景観があの有名なフランスのモンサンミッシェルに似ていることからこの名がつけられました。景観賞に選ばれて大変うれしく思います。おめでとうございます。

益田市にとって今回はダブル受賞ということになりました。

また ひとつ益田の魅力（セールスポイント）がふえました。

さあ 皆さん出かけましょう。島根の景観をたずねて。伝えましょう島根のすばらしさを。

（情報発信ボランティア・グループ 飯塚哲也）

あ と が き

来年度の冒頭を飾る松竹大歌舞伎は、翌日には文楽（人形浄瑠璃）の舞台施設を持つ長門市・ルネッサながとでの公演となります。ここでグラントワよりおよそ100キロ内外までのホール文化施設を挙げてみますと、岩国市には周東バストラホールとシンフォニア岩国。秋芳町には秋吉台国際芸術村。山口市民会館や、中四国地方でも有数の集客力をもつ周南市文化会館。何れも車で2時間以内で行けることとグラントワ同様「友の会」もあります。グラントワの情報コーナーやホームページでお好きな催し物を見つけて出かけてみることも楽しみ多いことと思えます。

（大庭明博）